

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2006

第4回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン

‘ドラマティスト、ヘンデル’

DRAMATIST * HANDEL

2007

1/14 日

@ 浜離宮朝日ホール

15:00 開演 (14:30 開場 19:00 終演予定)

【HFJの果敢な挑戦】

オラトリオ

ヘラクレス

HWV60 全曲 本邦初演

豪華キャストによる超大作の全曲ノーカット上演。字幕付き。
ヘラクレスの悲劇的な死を描いた、ヘンデル円熟期の傑作オラトリオ。

- 出演：牧野 正人 (ヘラクレス) 波多野 睦美 (デージアナイラ)
野々下 由香里 (アイオレ) 米良 美一 (ライカス) 辻 裕久 (ヒュロス)
キャノンズ・コンサート室内管弦楽団 & 合唱団
指揮/チェンバロ：渡邊 孝
合唱指揮：辻 裕久

■ TICKETS：S 7500円 A 6500円 (学生 4000円) 全席指定

2006

12/8 金

@ 日本福音ルーテル東京教会

19:00 開演 (18:30 開場)

『ヘンデル・オラトリオからのアリアと重唱の夕べ』

辻 裕久とキャノンズ・コンサート室内合唱団の面々が、
ヘンデル・オラトリオからの名アリアや重唱、合唱を歌います。

- 出演
独唱：辻 裕久 (テノール)、キャノンズ・コンサート室内合唱団団員
合唱：キャノンズ・コンサート室内合唱団
ポジティブ・オルガン：勝山 雅世 チェンバロ：千葉 奈央子
ヴァイオリン：水田 せつ子、鍋谷 里香 ヴィオラ：猪谷 さくら
チェロ：室野 良史
話し：三澤 寿喜

■ TICKETS：4000円 (学生 2000円) 全席自由



Masato Makino



Mutsumi Hatano



Yoshikazu Mera



Yukari Nonoshita © Mariko Kato



Takashi Watanabe



Hirohisa Tsuji



Toshiki Misawa



■ お得な2公演通し券 S 10000円 A 9200円

※ 学生チケット……アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。
※ 通し券……アレグロミュージックにて取り扱い。前売りのみ。

【チケット取り扱い】 ◎ チケット発売開始：2006年 9月20日

アレグロミュージック 03-5216-7131 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
CNプレイガイド 0570-08-9990 朝日ホール・チケットセンター(1/14のみ) 03-3267-9990

■ 主催：『ヘンデル・フェスティバル・ジャパン』実行委員会
■ 制作統括/監修：三澤寿喜
■ 助成：財団法人朝日新聞文化財団、財団法人三菱信託芸術文化財団
■ 協力：朝日新聞社、久保田チェンバロ工房、石井賢(ポジティブ・オルガン)、池上ルーテル教会
■ 後援：(株)全音楽譜出版社 ■ マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2006

第4回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン (HFJ2006) — ドラマティスト、ヘンデル —

ヘンデル没後250年となる2009年を見据えながら、2003年より開始したHFJは、声楽曲から器楽曲まで広汎なヘンデル作品を包括的、継続的に演奏し、とかく《メサイア》に偏りがちな「ヘンデル像」を正し、直接的で劇的な表現力に富むヘンデル作品の真の魅力を浮き彫りにします。03年(第1回)「キャノンズのヘンデル」、04年(第2回)「ローマのヘンデル」、05年(第3回)「コヴェントガーデンのヘンデル」はいずれも好評を得ました。06年(第4回)は「ドラマティスト、ヘンデル」と題してヘンデルの優れた劇作法を紹介します。

■ 企画1: 「ヘンデル・オラトリオからのアリアと重唱の夕べ」(解説付き) …… 予定曲目 ※曲目は予告なく変更されることがあります。

《メサイア》	ソプラノのアリア	………… ‘Rejoice greatly’
《聖セシリアの日のためのオード》	ソプラノのアリア	………… ‘What passion cannot music raise’
《イェフタ》	四重唱	………… ‘O spare your daughter!’
《テオドーラ》	テオドーラのアリア	………… ‘With darkness’
《ユダス・マカベウス》	二重唱	………… ‘Oh lovely peace’
《陽気の人、ふさぎの人、中庸の人》	二重唱	………… ‘As steals the morn’
《サムソン》	サムソンのアリオーソと合唱	‘Total eclipse’— ‘Oh first created beam!’
《ヘラクレス》	ヒュロスのアリアと合唱	………… ‘Where congeal’d the northern streams’ — ‘Oh filial piety’
他。		



■ 企画2: オラトリオ《ヘラクレス》HWV60全曲 (本邦初演)

1745年初演。前回のHFJで演奏した《ヘラクレスの選択》(HWV69)とは全く別作品。デージャナイラは夫のヘラクレスが若い娘アイオレに気を移したと思い、激しく嫉妬する。夫の愛を取り戻そうとするデージャナイラは、愛を回復させる力をもつ衣服を夫に贈る。実はそれにはかつてヘラクレスによって殺されたネッソスの怨みの毒が塗られていた。ヘラクレスが服を着るやそれは肉体に食い込み、彼は悶死する。デージャナイラは思わぬ展開に狂乱する。第3幕の「ヘラクレスの悶死の場面」と「デージャナイラの狂乱の場面」は最大の聴き所。あまりに赤裸々な人間感情の描写に当時の聴衆は戸惑いを見せたが、後には「ヘンデルの劇的作品の最高傑作」とまで評されることになるこの問題作を、全曲ノーカット上演します(正味上演時間3時間超)。

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol. 4 (HFJ 2006)/THEME: DRAMATIST, HANDEL
PROJECT I FAVORITE ARIAS AND DUETS FROM HANDEL'S ORATORIOS(with Lecture)
■ Time:19:00, Friday 8th December, 2006 ■ Venue:Tokyo Lutheran Church
■ Ticket:¥4000(Free seating) Students ¥2000

PROJECT II HERCULES (HWV60) (The first performance in Japan)
■ Time:15:00, Sunday 14th January, 2007 ■ Venue:Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo
■ Tickets: S=¥7500, A=¥6500, Students=¥4000
MOTTO: HANDEL A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

▼ 出演者

三澤 寿喜

Toshiki Misawa (音楽学:制作統括/監修&企画1)
HFJ実行委員長。ヘンデル研究。国立音楽大学大学院修了(音楽学)。主要編著書:『ヘンデル・アリア選集1(オペラ編)』、『同2(オラトリオ編1)』、『同3(オラトリオ編2)』(共編著:全音楽譜出版社)、『ヘンデル二重唱曲集』(音楽之友社)、『ヘンデル全集』(ユニバーサルミュージック)。主要訳書:ホグウッド『ヘンデル』(東京書籍)、パロウズ『商業的富裕と文化の伸張』(「ドイツ音楽の興隆」第7章:音楽之友社)、他。
北海道教育大学函館校教授。

辻 裕久

Hirohisa Tsuji (テノール:企画1,2)
HFJ実行委員。東京芸術大学音楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院修了。オペラ、オラトリオ、古楽、現代音楽等のソリストとして国内外で活躍。CDに『B. プリテン歌曲集』(レコード芸術誌準特選盤/FMC5040)、『同II』(同誌特選盤FMC5045)、ヘンデル『メサイア』(シュナイ特指揮)等。今までにグレーテルム声楽賞(英)、第32回フランシスコ・ヴィニャス国際声楽コンクール第3位並びに最優秀オラトリオ・リート歌手賞(西)を受賞。

渡邊 孝

Takashi Watanabe (指揮/チェンバロ:企画2)
東京音楽大学を経て桐朋学園大学研究科修了。02年よりアムステルダム音楽院、05年よりミラノ私立音楽院に在籍中。ソロ、コンティスオ奏者として、日本、ヨーロッパで活躍中。04年イタリア「ボンポルティ国際コンクール」でアンサンブル「Rcreation d'Arcadia」として第1位を受賞。05年7月のスロヴェニア・イタリヅァーでは大好评を博した。07年はオーストリア・メルクの音楽祭に招聘されている。チェンバロを渡邊順生、B.v.アスベレン、オルガンをL.ギエルミに師事。

牧野 正人

Masato Makino (バリトン:企画2)
所属する藤原歌劇団では「樞姫」でデビュー以来、『アイダ』『ボエーム』などに出演。新国立劇場にも『リゴレット』『ナブッコ』『セリリアの理髪師』など度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。またイタリアバロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。第23回ジロー・オペラ賞受賞。洗足学園音楽大学講師。日本ロッシーニ協会委員。

波多野 睦美

Mitsumi Hatano (メゾ・ソプラノ:企画2)
ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。国際的に高い評価を受けるイギリス・ルネサンスのリュートソング、バロック歌曲、日英独仏の近現代の歌曲を重要なレパートリーとして国内外で数多くのコンサートとCD録音を行う。リュートソングでケンブリッジ、リンカーンの音楽祭に出演。アメリカのパシフィック音楽祭で間宮芳生作品の初演および再演。《グライダーとエネアス》《イドメネオ》などのオペラ出演でも深い表現力で注目されている。

野々下 由香里

Yukari Nonoshita (ソプラノ:企画2)
東京芸術大学大学院修士課程修了。バリ・エコールノルマル音楽院にて独唱者高等卒業資格。'89年レンス歌劇場に『フィガロの結婚』ケルビーノ役でヨーロッパオペラデビュー。帰国後は'94年の東京でのリサイタル、寺神戸亮氏プロデュースによるバロックオペラへの出演、パッサ・コレギウム・ジャパンのソリストとしての公演・録音への参加など、古典から現代まで幅広く取り組み、高い評価を得ている。中村浩子、モラヌ、スゼー各氏に師事。02年より東京芸術大学音楽科助教授。

米良 美一

Yoshikazu Mita (カウターテナー:企画2)
宮崎駿監督作品『もののけ姫』で一世を風靡し、その音楽性は欧米でも高く評価されている。洗足学園音楽大学を首席で卒業。パッサ・コレギウム・ジャパンの定期公演で教会カンタータでデビュー。オランダ政府給費留学生としてアムステルダム・スヴェーリンク音楽院に留学。その後、ソプラノのグルペローヴァやカウターテナーのゴヴァルスキーなどの世界的名歌手と世界各地で共演し高く評価された。CDはキングレコードから多数発売されている。

キャノンズ・コンサート室内管弦楽団 CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA (CCCC):

2003年、HFJ専属オーケストラとして設立。ヘンデルが1718年頃に滞在したシャンドス公爵の壮麗・豪華な邸宅「キャノンズ邸」の専属合奏団、CANNONS CONCERTに因む。

メンバー: 松永綾子(Vn,Cm) 山口幸恵(Vn) 渡邊さとみ(Vn) 川久保洋子(Vn) 深沢美奈(Va) 懸田貴嗣(Vc) 前田芳彰(Cb) 宮三正満(Ob) 江崎浩司(Ob) 神代修(Tp) 渡辺隆太(Tp) 下田太郎(Hn) 飯島さゆり(Hn) 石橋知佳(Timp)

キャノンズ・コンサート室内合唱団 CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR (CCCC):

2005年、HFJ専属合唱団として設立。名称の由来はCCCCに準じる。

メンバー: 千石史子 広瀬奈緒 本宮廉子 山崎千恵 若林三千代 渡邊公実子 奥野恵子 小野綾子 宮崎恵美子 横町あゆみ 藍原範道 前田啓光 真木喜規 小家一彦 石井賢 他。

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費は1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引き)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。法人会員については別途お問い合わせください。

日本福音ルーテル東京教会 ▶
〒169-0072
東京都新宿区大久保1-14-14
Tel 03-3209-5702
●JR山手線 新大久保駅より徒歩5分



ご案内図